

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード		AA0290	
テーマ	国際社会の諸問題の解決にむけて				
担当者	岡松 暁子	開講期	春	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 4限
関連するコース	グローバル・サステナビリティコース(他コース専攻の学生の履修を妨げない)				
授業の到達目標			授業のテーマ		
国際社会の諸問題を解決するための手段、方法を多角的な視点から考えることができるようになる。			国際社会の諸問題を題材として、発表、討論を行う。		
授業の進め方					
・参加者の関心のあるテーマについて、関連する文献を講読し、議論を行う。 ・自分の関心のあるテーマについて、報告をする。 ・その他、受講者の希望により決定する。 ・受講者の希望により、英語文献の購読も行う。					
学生の皆さんへのメッセージ					
国際関係の諸問題について考えたい学生、積極的な姿勢で取り組む学生の参加をお待ちいたしております。					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
毎回の予習、報告準備			報告、議論への貢献		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	新2年生、新3年生、新4年生				
1. 募集人数：20名程度 2. 選抜方法：志望調査票の内容。志望者数によっては面接も行う。					
質問のある方は、下記にメールを送ってください。 問合せ先：岡松 暁子 (okamatsu@hosei.ac.jp)					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ:10/26、11/9、11/16 場所:F506 ゼミ後の5限に質問を受け付けます。			
説明会開催有無	有	メールでの質問も受け付けます。(okamatsu@hosei.ac.jp) 詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。			
備考					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード		AA0291	
テーマ	研究・調査の方法と実践-経営学研究・実践法を中心として-				
担当者	金藤 正直	開講期	通年	※変更可能性有 曜日制限	金曜日 3限
関連するコース	全てのコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
研究論文やリサーチペーパーの作成、ケーススタディ、ビジネスモデルやこれに基づくプランの検討、量的・質的調査のための基礎的技法を学習しつつ、その成果を実践にも活かしていくことを目標とします。			企業や自治体、その他関係機関とも連携しながら、「読む」、「書く（描く）」、「調べる」、「考える」、「つくる」、「話す（報告する）」、「計算する」、「分析・評価する」、といった将来に必要なスキルの向上を目指します。		
授業の進め方					
① 現在取り組んでいる研究・調査のテーマ、または関心のあるテーマごとに チーム を作ります。 ② チームごとに、またはチーム内のメンバー個々人で研究・調査実施計画書を作成し、それをもとに研究・調査などを進めていきます。 ③②での成果については、 中間報告や最終報告 を行い、また レポート も作成します。 ※ゼミでは、各メンバーのレベルアップのために、企業イベント、学会、インゼミ、エコプロなどへの参加も予定しています。					
学生の皆さんへのメッセージ					
現在取り組んでいる研究・調査や新たな課題に対して積極的かつ意欲的に取り組むことができること、他人への気配りを大切にできること、最後まで諦めずにやり遂げることができる学生の皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
企業や自治体、その他関係機関とのミーティングを始め、関連イベントなどにも参加しながら、研究・調査やビジネスプランの基本的な視点、方法、内容を検討していきますので、楽しく前向きに、また、計画的に実施してください。			本演習の成績は次の 4点 に基づいて評価します。 ・討論への参加（発言内容）(20%) ・報告用配布レジュメの内容(20%) ・報告内容（プレゼンテーション能力）(30%) ・最終レポート(30%)		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	30名程度（新2年生、新3年生、新4年生の合計人数）を募集します。				
【選抜方法】					
① 「研究会志望調査票」と「面接試験の内容」をもとに選抜します。なお、面接は状況により、 オンライン で行う予定です。 ② 面接試験の日程や可否の結果報告は、 メールおよび学習支援システム で行いますので、各自確認してください。					
【その他】					
① レポートの執筆は 必須 とします。 ② 研究・調査先や国内の学会での プレゼンテーション を始め、学内外の懸賞論文などへの投稿も行います。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	無	ゼミに関する詳細については以下までご連絡ください。個別に対応します。			
説明会開催有無	無	※金藤: kanetoh@hosei.ac.jp			
備考					
研究・調査の方法（議論の仕方、報告の仕方・聞き方、質問の仕方、質問への対応など）は、皆さんが将来のために身に付けるべき重要なスキルですので、現在取り組んでいる研究・調査の進め方や、今後のために取り組むべき研究・調査のテーマに悩んでいる方は、ぜひ参加してください。					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B	学習支援システム応募用授業コード	AA0292			
テーマ	技術論・デザイン論の文献講読とディスカッション				
担当者	金光 秀和	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 3限
関連するコース	全てのコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
技術論・デザイン論に関する学術的文献の精読によって、現代社会で技術やデザインが果たす役割について① 専門的な知識を得ること 、さらにその過程で、② 学術文献を読むための基本的なスキルを身につけること を目標とします。また、文献講読で扱ったテーマについて、ディスカッション(あるいは対話)を行うなかで、技術やデザインが果たす役割について③ 批判的に思考できること 、さらにその過程で、自分の考えを表現する、他者の考えを傾聴する、他者とともに考えるといった、④ ディスカッションや対話のための基本的なスキルを身につけること を目標とします。			高度科学技術社会とも呼ばれる現代社会において、技術はなくてはならない存在です。技術は、人間と環境の共存、人間と人間の共存にも大きな役割を演じ、持続可能な社会を実現するためにも必要な存在です。しかし、私たちは 技術が現代社会で果たす役割 をどれだけ考えたことがあるでしょうか。そのことは、デザインについても同じです。技術的人工物がいかにデザインされ、その デザインが私たちの行為や生活をどのように変えているか をどれだけ考えたことがあるでしょうか。この研究会では、このような問題意識を持ちながら、 技術論 および デザイン論 を授業のテーマとします。		
授業の進め方					
学術的文献の講読を基本とします。参加者は、①発表(レジュメ作成)、②質問、③司会を担当します。また、文献講読で扱った中からテーマを設定して、 ディスカッションや対話 を行います(ディスカッションと対話の違いについては授業中に説明します)。参加者の人数にもよりますが、学期中に 2~3 回程度実施する予定です。ディスカッション・対話の際には、企画と司会を何人かのグループで担当してもらいます。なお、2024 年度は、村田純一『技術の哲学』、パパネック『生きのびるためのデザイン』、ダン他『スペキュラティブ・デザイン』などの文献講読を考えていますが、最終的には参加者と相談をして決定します。					
学生の皆さんへのメッセージ					
次のような方のご応募を期待します。 ・「科学技術社会論」や「技術哲学」の授業内容やテーマに興味を持った方 ⇒ 一番ぴったりだと思います。 ・この分野についてはあまり勉強したことはないが、興味自体はある方 ⇒ その興味をぜひ大切にしてください。 ・分野はともかく、学術的文献の読み方を学びたい方 ⇒ どのような分野に出会うかは運です。まずは読んでみましょう。 ・文献を読むのはあまり得意ではないが、ディスカッションが好きな方 ⇒ そうした方も大歓迎です。					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
文献講読の担当(発表・質問・司会)、ディスカッション・対話の企画・運営などを行います。			平常点(文献講読担当、ディスカッション・対話担当等)を80%、年度末レポートを20%として評価します。		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2~4年生				
志望理由書を書いてもらい、Zoom ないしは対面で面接を行い決定します。 2年連続しての継続履修、他研究会との重複履修のいずれも原則可能です。必要に応じて相談してください。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は			
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。			
備考					
各種情報は学習支援システムに掲載するので、興味がある人はまずは仮登録をしてください。					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0293	
テーマ	エアライン・鉄道・モビリティ・船舶のオペレーションとサービス					
担当者	北川徹哉	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5 限	
関連するコース	全てのコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<ol style="list-style-type: none"> 陸・海・空の交通運輸の性質と経営を説明できる。 空港・港湾・駅・道などの運営・管理を説明できる。 陸・海・空の各種交通のサービスを説明できる。 			航空、鉄道、モビリティ、船舶などの各種交通機関の施設、業務・サービスを学び、陸・海・空の交通運輸の健全で安全な運用を維持することの重責を知ります。また、コロナ禍が収束する中で、大きく回復しつつある旅行観光業界にも関連したテーマです。			
授業の進め方						
<p>空の交通は航空機・クルーと空港施設・スタッフとが協力しながら担っています。これは鉄道交通や自動車交通、海上交通でも同様で、船舶と港湾、列車と駅・路線、自動車と道路管理というように各ペアがうまく連携すればこそ、スムーズで安全な交通運輸が実現でき、着実な物流や楽しい旅行・観光を支えることができます。また、交通は公共性もあることから、各種企業のほかに国や自治体などを含めて多様な組織・人間が関わっており、これらの業務全般もこのゼミの勉強対象です。たとえばエアラインパイロットやCA(キャビンアテンダント)、航空管制官やGS(グランドスタッフ)、GH(グランドハンドリング)などに興味をもつ学生さんもいますし、高速鉄道の車内販売サービスやリニア中央新幹線の計画、さらには国際物流や海運、税関など、それぞれの学生さんが勉強したいと思うテーマに取り組んでいます。現在の参加学生さんは少人数で、こじんまりとした、ほのぼのとした雰囲気勉強しています。来年度も、ゆったりとしたムードのゼミになると思います。進め方としては、テキストや資料等を選んで勉強し、PPT にまとめて発表します。フォトコンテストを開催したこともあります。なお、4 年生は就職活動関係で多忙になりますので相談しましょう。ゼミ合宿については学生さんの意向を聞いて実施するか考えます。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<ul style="list-style-type: none"> ・このゼミは初学者むけです。むずかしく考える必要はなく、ちょっと勉強してみようかな、この曜日・時限あいてるし、といった志望動機でまったく問題ありません。 ・学生さん同士でお互いに助け合い、補い合いましょう。 ・どんどん質問しまししょう。 ・ゼミでは初めて直面する内容もありますので、たとえ間違えてしまっても、それは当然であり、それを楽しむくらいで丁度よいのです。むしろ、間違えたこと、わからなかったこと、を隠さず言えることは、あなたの魅力の一つとなります。 						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
テキスト・資料の熟読、下調べ、発表の準備			参加、発表、質問、討論などによる総合評価			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新 2～4 年生					
<p>基本的に、志望理由書での書類選考とします。面接は希望者のみ、Zoom で行います。面接を希望する場合は、北川までメール(アドレスは下記の備考を参照)にて、学籍番号・氏名、面接希望の旨、面接の希望日時(第 3 候補くらいまで書いてください)をご連絡ください。折り返し、面接日時と Zoom 情報を返信します。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は				
説明会開催有無	無	学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						
何かありましたら北川までメール(kitagawa@hosei.ac.jp)をください。						

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B	学習支援システム応募用授業コード	AA0294			
テーマ	SDGs の時代と地域社会				
担当者	小島 聡	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5 限
関連するコース	RSP 生用				
授業の到達目標			授業のテーマ		
・地域の持続可能性に対する幅広い視野と教養、地域実践の動向に関する知識を身につける。 ・地域課題の解決に関する発想力やデザイン力を身につける。			SDGs を視野に入れながら、地域の持続可能性問題に向き合い、課題解決に向けた創造的な取り組み(ソーシャル・デザイン・ソーシャル・イノベーション)について考えます。		
授業の進め方					
SDGsとつながる地域の持続可能性課題とそれらの解決に向けたアクションについて考えていきます。具体的には、空き家問題に象徴される都市の縮小やコミュニティの衰退、人口減少、高齢化、格差、過疎化、東京一極集中、地域環境の劣化、災害や感染症といったリスクの増大、ジェンダー平等、多文化共生、といった諸課題とともに、地域再生、持続可能な地域社会、地域循環共生圏といった社会像、地域の未来に示唆を与えるような創造的取り組み(ソーシャル・デザイン・ソーシャル・イノベーション)について検討します。文献(書籍、雑誌・・・)、映像、討論・ワークショップ、ゲスト、研究会独自のフィールドスタディ、プロジェクトの企画運営など、様々な手法を試みる予定です。					
学生の皆さんへのメッセージ					
たとえ小さな挑戦であったとしても、未来への希望になりうるような実践にも目を向けながら、実現すべき持続可能な地域社会について議論し、同時に、参加する社会人学生自身の問題関心やRSPにおける学びの目的を活かしつつ、これからのライフ・デザインにも役立つような研究会にできればと考えています。また、様々な人生を歩んできた社会人学生のみなさんが本学部集った偶然を大切に、社会人学生のコミュニティ形成を図りたいと思います。					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
・文献等の予習 ・各地のケースに関する情報収集 ・テーマに関する調査 ・プレゼン資料やレポートの作成			積極性・協調性をはじめとする研究会への参加姿勢と、レポート等の課題の総合評価とします。		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	社会人学生(2~4年生)、7~8名程度。 ※2023年度の研究会から継続する学生を優先します。				
・志望書と、対面または Zoom による面接で選考する予定です。 ・質問などは、メール(skojima@hosei.ac.jp)で受けつけます。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は			
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。			
備考					
2023年度はローカル SDGs について多角的に学びながら、横浜や真鶴などのフィールドを訪れました。2024年度は特定地域との関係づくりも試みてみたいと思います。また2024年度は、特にコミュニティの問題を取り上げる予定です。					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0295	
テーマ	質的社会調査					
担当者	佐伯 英子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 2限	
関連するコース	全てのコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
1. 質的調査(インタビュー、参与観察)の方法を学ぶ。 2. 英語文献・論文を探し、読み、使えるようになる。 3. 各自のテーマに沿って研究計画書を執筆する。			社会学的視点を養いながら、実践的な社会科学の調査(質的調査)のスキルを身につけるための研究会です。			
授業の進め方						
前期はインタビュー、参与観察、テキスト分析を含む質的調査の方法を学び、グループプロジェクトとワークショップを通して体験します。また、各自が研究テーマを設定して文献を探し、読み始めます。後期は問いを立て、具体的な調査方法を決定し、研究計画書を執筆します。						
学生の皆さんへのメッセージ						
気になっている社会問題はありますか？ 自分の興味・関心をリサーチに結びつけることができれば、面白そうだと思いますか？ 使える英語を身につけたいと思いませんか？ この研究会はこれらの問いに頷いた、あなたのためにあります。1年間が終わる頃にはフィールドに出て調査を始められるよう、問いの立て方、資料や文献の探し方、先行研究のまとめ方、質的調査のテクニックを学び、研究計画書を書き上げます。英文の資料や文献も使えるようになります。必要なのは、知的好奇心と自ら選んだテーマを追求しようという意欲です。						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
課題を定められた期間内に仕上げること、課題の文献を読み、ディスカッションに備えることは必須です。グループプロジェクトではメンバーと協力して進めること、個人研究の計画書のためには自主的に調査と執筆を行うことが求められます。			授業中の発言、発表内容、課題への取り組み等から総合的に判断します。			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2~4年生					
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は				
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0296	
テーマ	都市における環境問題					
担当者	杉野 誠	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 5限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース ローカル・サステイナビリティコース グローバル・サステイナビリティコース 人間文化コース 環境サイエンスコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
本研究会では、(1)都市における環境問題を広い視野でとらえ、(2)各自の価値基準に基づく政策思考力を高め、(3)他者に意見を伝え・議論できるようになることを目的とします。			2024年度は、都市における廃棄物問題を取り扱います。			
授業の進め方						
文献の精読を行う。毎回、レポーターを選び報告をする(レポーターは、毎回授業内で決定)。レポーター以外は、質問や議論を活発に行うこと。また、各自のまとめレポートの進捗状況を定期的に報告する。						
学生の皆さんへのメッセージ						
本研究会では、都市における環境問題(2024年度は廃棄物問題)について議論を交えながら改善方法や現行制度の問題点を学んでいきます。そのため、受講生間のコミュニケーションを重視します。くわえて、他者に対する気配りや最後まで諦めないことも重視します。 英語の文献を読む場合があります。						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
テキスト・資料の熟読、関連情報の収集および報告資料の作成 まとめレポートのトピックを決定し、各自でレポートを進める。			本演習の成績は以下の4点に基づいて決定します。 ① 報告資料の内容 ② プレゼンテーション能力 ③ 議論への参加(発言内容) ④ まとめレポート			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新 2~4年生各学年 10名まで(合計 30名)					
選考方法: 志望理由書をもとに選考いたします。なお、オンラインでの面談を行う可能性があります。面談の内容は、(1)研究会のテーマに対する熱意(動機)、(2)積極性(コミュニケーション)および(3)その他となります。これらを総合的に判断いたします。 その他: 履修期間は、1年間を前提として研究会を運営します。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	無	オープンゼミ・説明会の情報詳細は				
説明会開催有無	無	学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0297	
テーマ	人間コミュニケーション					
担当者	ストックウェル・エスター	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月曜日 2限	
関連するコース	全てのコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
This course combines both theory and practice and provides an overview of the different aspects of human communication. We will cover fundamental theories to explain features of interpersonal relationships, groups, organizational relationships, cultural diversity, cultural attitudes, groups and persuasion, mass media, and the effects of the media on receivers. Students will learn to question why some forms of communication work and why others fail. Individual, social and technological aspects of communication are examined from theoretical and practical points of view.			* Human Communication *			
			Our lives are made up of communication in many different forms. We communicate with people around us not only through verbal language, but also through other forms of communication as well. The ability to communicate effectively is important in university study and in professional life. Differences in culture often have an effect on the way in which we communicate with each other. News and current events are also communicated to us through media such as newspapers, television and the Internet. These concepts will be discussed in this subject.			
授業の進め方						
Classes will consist of a series of short lectures and other visual materials, followed by group and class discussions on the concepts covered in the lectures. In addition, students will be required to prepare for class by reading assigned articles on the topics of the following class.						
学生の皆さんへのメッセージ						
言葉自体はメッセージを伝えますが、表情、姿勢、ファッションなども多くのメッセージを相手に伝えます。コミュニケーション学は、社会学、心理学、経済学、政治学、法学、文学、言語学、工学、医学などの分野の基盤になっており、人間は何らの形でコミュニケーションを取らないと生きていけません。また、家族・交友などの人間関係においても、欠かすことができません。全てのコミュニケーションは、自分を理解することから始まり、その次に、周りの人、学校や会社、それから社会に影響を及ぼします。このゼミは、語学のためではなく、コミュニケーションという分野について英語で学ぶのは目的なので、コミュニケーション・スタディーズに興味のある方のご参加をお待ちしています。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
Students will be required to prepare for class by reading handouts and assigned articles on the topics of the following class.			Students are expected to participate actively in class. Assessment is based on <u>weekly class participation</u> , <u>presentations</u> and <u>written assignments</u> . Students will not be assessed on their English language skills, but rather on their knowledge of the content of the classes.			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2-4年生					
Student numbers are limited to a maximum of 15. この研究会について質問がある学生はストックウェルまでメール(estock@hosei.ac.jp)にて連絡してください。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有・ <input type="checkbox"/> 無		オープンゼミ・説明会の情報詳細は			
説明会開催有無	有・ <input type="checkbox"/> 無		学習支援システムに仮登録して確認してください。			
備考						

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0298	
テーマ	緑豊かで生物息づく都市に向けて					
担当者	高田 雅之	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 2限	
関連するコース	全てのコースが対象					
授業の到達目標			授業のテーマ			
ゼミでは「緑・水・生物」の視点から人と自然にとって持続可能な都市を探求します。防災・造園・生物多様性・計画・教育・地域など様々な分野からのアプローチを試み、フィールドワークや国内外事例研究を含めて、 多面的知識と俯瞰的な視点 から都市環境を考え、望ましい姿をイメージできる 実践的な思考力(提案力+応用力+デザイン力=総合力) を高めることを目標とします。併せて、千代田区が取り組んでいる環境マネジメントシステムであるCES(千代田エコシステム)への貢献も目指します。			千代田区を含む都市全体を対象に以下に取り組みます。 ①緑・水・多様な生物など都市の自然を構成している個々の要素について理解と知識を深めます。 ②街路樹・公園・都市農業・河川や海岸など都市を構成する自然的空間の果たす役割と機能を考究します。 ③環境教育・コミュニティ・企業活動・景観づくり・環境管理など人間の果たす役割について探求します。 ④認証制度・グリーンインフラなどこれらに関連づける仕組みやシステムから持続的な都市を提案します。			
授業の進め方						
① グループ研究 …半期に 2～3テーマを設定し、グループで調査・討論・取りまとめ・プレゼンテーションを行い、「課題設定→情報収集→分析評価→提案」を通して 課題への知識と理解 を高めます。 ② 個人研究 …個々人の関心に応じた研究テーマを自由に設定して調査と意見交換を行い、 到達目標に向かう能力 を高めていきます。また「まち紹介」などのテーマで、日替わり交代で短い発表を行い、個々の学びに生かします。 ③ フィールドワーク …半期に数回程度、ゼミの時間を活用して、様々な取り組みの実際を学ぶ、グループで探索調査して取りまとめるほか、週末の野外学習、夏合宿等の活動を行います。 ④ 実践提案まとめ …これらを積み重ね、組み合わせて、持続可能な都市に向けたアイデアや提案を取りまとめることを通して、 俯瞰力・構想力・実践的・思考力 を高めていきます。						
学生の皆さんへのメッセージ						
持続可能な都市は、持続可能な社会を考える重要な場だと思います。その中で自然環境(緑・水・生物)が果たす役割が国／都市の政策に位置づけられるなど世界的に重要視されています。このゼミではひとつの課題に対して様々な角度から視線を当て、その反射光を柔軟に受け止めてひとつの形に組み立てる力を目指します。多様な授業の進め方とアプローチ分野に対して、 高い関心と意欲を持って積極的に参加・率先 できる方を歓迎します。						
授業外で行うべき学習活動 (準備学習等)			成績評価基準			
「授業の進め方」①～④に関して、必要な準備や調査を行うほか、日頃の学習の中でヒントやアイデアを常に探し、それをゼミ学習に生かすよう心掛けて下さい。			提出物の内容と期日遵守の他、学習意欲、受講態度、グループワークへの貢献、ゼミ運営への率先と貢献、そのほか活動参加などを総合的に評価します。			
募集にあたってのお知らせ (選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2年生、新3年生、新4年生					
募集人数	20名程度					
選考	選考は書面及び面接(ZOOM または 対面)により行います。志望調査表には志望理由のほかに 関心あるテーマと理由 、その他ゼミへの抱負を書いて下さい。1年単位のゼミですが 高い意欲で取り組んでいただく方は継続参加も歓迎 です。選考に関する連絡については 学習支援システム(Hoppii) でお知らせしますので随時確認して下さい。					
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ(ZOOM)の詳細は 学習支援システム(Hoppii) にてお知らせしますので 仮登録の上で確認 して下さい。説明会は行いませんが聞きたいことがあれば何なりと教員に問い合わせて下さい。				
説明会開催有無	無					
備考						

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード		AA0299	
テーマ	文化人類学的エスノグラフィーの基礎を学び、文化を探る				
担当者	高橋五月	開講期	通年	※変更可能性有 曜日制限	木曜日3限
関連するコース	全てのコース(但し、2024 年度に A ゼミ履修を希望する場合は人間文化コース選択を奨励します)				
授業の到達目標			授業のテーマ		
1) 文化人類学とエスノグラフィーについての基本的な理解を得る、2) エスノグラフィーの実践体験する、3) エスノグラフィーについて具体例を交えながら自分の考えを述べることができる、4) 文献研究、研究発表、論文作成のスキルを得る。			エスノグラフィー（人の話を聞き、行動を観察し、その社会・文化背景を考察する）という調査手法の基礎知識を学び、各自で実際に現地調査を行い、データ分析し、論文にまとめる。研究テーマ選択は自由！（例：都会のホテル、八王子農業、有機食品、押し活グッズ、銭湯、自己表現としてのコスメ、子供の遊び方、等々）		
授業の進め方					
本研究会は大きく分けて3つの活動で構成されます。 ① エスノグラフィー入門：テキストを講読、議論しながら、エスノグラフィーの基礎的知識を得る。 ② 現地調査：各自が選択した研究テーマで調査計画書を作成し、実際に現地調査を実行し、発表、意見交換する。 ③ 研究論文：先行研究を参照しながら現地調査で得たデータを分析、調査論文を作成、発表する。					
学生の皆さんへのメッセージ					
身近な社会問題や文化的営みに注目し、「当たり前」と思っていたことに疑問を見出し、新たな謎を発見する。そして、その謎についてエスノグラフィーという調査手法を用いて探求するというのがこのゼミの趣旨です。調査対象者の方々の話を聞き、彼らの日常生活の一部を観察させてもらうというのは、簡単なようで難しく、しかし刺激的で面白い研究方法です。しかも、(少し大げさかもしれませんが) エスノグラフィー的視点は日常に面白さを見出すことができ、人生を豊かにします。「正解」がない学問ですが、モヤモヤを楽しみながら、頭と体を使った知の探求を一緒に楽しみましょう！					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
テキストや関連文献の講読、文献感想文、ファシリテーター、調査準備、現地調査、発表準備、論文作成			平常点（意見交換への参加など）、フィールドワーク、発表、文献感想文や論文による総合評価		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	新2、3年生(15名程度)				
<ul style="list-style-type: none">高橋Bゼミは基本的に1年間限定での履修です（留学等の理由により1年間で完了できない場合は応相談）。高橋Aゼミ入会にはBゼミ履修を推奨しています。将来的に高橋Aゼミで卒論に取り組みたい場合は、まずBゼミにてエスノグラフィー基礎知識を習得してください。Bゼミ履修者は希望者全員が次年度からAゼミに参加可能です。Bゼミのみ履修希望（将来的なAゼミ入会を希望しない方）も大歓迎です。毎年半数程度がBゼミのみ履修しています。応募の際は、志望理由の欄に現時点で興味のある調査テーマとその理由も書いてください。 応募者多数の場合は、志望票の内容（第1次審査）と、面接（第2次審査）によって選抜します。第1次審査通過者リストと面接の詳細はHoppii「お知らせ」を確認してください。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	開催日時・場所などの詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無	有	個別の質問等は高橋<stakahashi@hosei.ac.jp>まで連絡をください。			
備考					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード		AA0300	
テーマ	持続可能な社会を求めて:多様性と寛容な社会				
担当者	武貞 稔彦／竹本 研史	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 5限
関連するコース	グローバル・サステイナビリティコース 人間文化コース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
本研究会では、(ア)持続可能性(もしくは開発と環境)をめぐる議論を広い視野から捉え、(イ)自らの意見を持ちそれを人に伝え、(ウ)途上国、先進国を問わず、将来の持続可能な社会の姿を自らの価値観に基づき想像／構想できるようになることを目標とします。			2024 年度は、「多様性」と「寛容」について考えます。現代社会では、多様な他者との共生が必要です。実際にどうすればそれが可能になるのか、特にこれから日本社会で増加していくであろう、「外国とつながりのある人々」との共生や「移民」の受け入れを巡る議論を中心に考えていきます。		
授業の進め方					
主に a)基礎文献の精読、b)与えられた課題に関する個人またはグループによる調査とグループディスカッション、c)参加者の意見表明の機会、などからなります。受講者の積極的な提案に基づき、演習の方法等は随時見直しを行います。					
学生の皆さんへのメッセージ					
* 当研究会は1年間でメンバーは原則交代です。1年間という限られた時間を実のある研究会とするため、参加者は「一期一会」の精神で積極的に他の参加者とかかわり合い、コミュニケーションすることが必須です。 * 「多様性」「寛容」「自由」以外にも以下のキーワードに関心のある人の応募を期待します。 【途上国、貧困、援助／支援、移民、公正／正義、自由】 * 演習参加者に最も求められるものは知識や学力ではなく「コミットメント」と「他者への配慮」です。教員としては、ゼミへの時間通りの出席および事前の予習は当然のことと考えます。					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
基礎文献、与えられた課題は必ず熟読して演習に臨むこと。関連して紹介された参考書なども出来る限り目を通すこと。必要に応じてゼミ外でもお互い積極的にコミュニケーションをとり、課題等について議論する機会を設けること。			研究会での議論への貢献、必要なレポート、その他研究会運営における貢献などを総合的に勘案します。		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2年生～新4年生、計30名程度(各学年10名が目安)。				
* 本研究会は1年間の履修を目的としており、2年連続しての継続履修は原則として避けてもらっています。なお、1年間をおいての履修、すなわち、2年次と4年次の履修は認められます。 * 他研究会との重複履修は原則可能です。負担が心配な人は教員に個別に相談してください。 * 応募者多数の場合は、志望調査票の精査、面談等を通じた選考を行います。選考方法およびスケジュールについては、学習支援システムでお知らせします。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	無	オープンゼミ・説明会の情報詳細は			
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。			
備考					
特になし。					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0301	
テーマ	責任ある経営とは何かを考える					
担当者	長谷川 直哉	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース ローカル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
大量生産・大量消費時代の 20 世紀が終わり、サステイナビリティ社会の実現が求められる 21 世紀では、企業経営のあり方にも変革が求められています。このゼミでは、責任ある経営とは何かをテーマに、未来社会で求められる企業像や企業価値とは何かについて学びます。			SDGs(持続可能な開発目標)、パリ協定(脱炭素)、責任投資原則(ESG 投資)、共通価値の創造(CSV)、統合報告書、サーキュラエコノミー(循環経済)、CX(デジタルトランスフォーメーション)などのテーマを中心に、具体的な企業事例を通じて、企業経営の未来像を探求します。			
授業の進め方						
持続可能な社会の構築に向けた世界的な潮流を踏まえ、以下の4つのポイントを中心に日本企業が直面する課題について検討します。(1)SDGs とパリ協定が企業の未来に及ぼす影響とは何か、(2)責任ある経営の評価基準とは何か、(3)責任投資(ESG 投資)時代に社会から選ばれる企業とは何か、(4)AI(人工知能)などデジタル革命の成果に代替されないスキルの磨き方。2・3年の混合チームを編成し、(1)～(4)のテーマに関する研究報告を行います。						
学生の皆さんへのメッセージ						
良い企業とはどのような企業でしょうか。皆さんはこの問いに答えられますか？ サステイナビリティを志向する世界的な潮流の中で、利益の量のみを基準とした 20 世紀型の企業評価システムが崩れつつあります。国内外では、企業評価において企業の社会的責任(CSR)や従業員満足度(ES)などを重視する傾向が強まっていますが、こうした流れは何を意味しているのでしょうか。この研究会では、CSRに代表される非財務情報から企業価値を評価する手法を学び、21 世紀社会で選ばれる企業とは何かを考えます。このゼミでの学びは、就職先企業を選択する際の指針にもなるでしょう。						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
文献や資料の分析、ゼミでの発表に向けてサブゼミ等を実施して準備することが求められます。夏休みにゼミ合宿(奄美大島または北海道)を行います。			成績評価は加点主義で、作成した報告資料や報告内容のレベル、研究会活動に対する貢献度などを総合的に評価します。			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2年生					
<ul style="list-style-type: none">志望調査票に記載された志望動機と面接(対面またはオンライン)による選考を行います。Bゼミ希望者はAゼミにも応募することを勧めます。応募者本人に直接面接の連絡をしますので、志望調査票には必ずメールアドレスを記載してください。合格者は「現代企業論」、「ビジネスヒストリー」、「CSR論I」、「CSR論II」の履修を推奨します。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は、学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード		AA0302	
テーマ	『論語』を読む				
担当者	日原 傳	開講期	秋	※変更可能性有 曜日時限	月曜日4限
関連するコース	全てのコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
・『論語』という書物の成り立ちについて理解する。 ・漢文訓読の力をつける。			・『論語』の一言一句をめぐって様々な解釈があることを知る。 ・日本の先人が中国の古典を読むために工夫して成立した「訓読」の技法を学ぶ。		
学生の皆さんへのメッセージ					
・『論語』は孔子とその門人たちの言行録です。その古い部分は今から二千年以上前に成立したものとされます。それをテキストに沿って読んでゆきたいと思います。 ・『論語』は、その成立と解釈について、古来いろいろな意見が交わされてきた書物でもあります。いつ、誰が編纂したのか？なぜ『論語』と名づけられたのか？等々についてもいくつかの説を紹介したいと思います。 ・基本テキストは金谷治訳注『論語』(岩波文庫)とします。それを読んで概要をつかんだ上で、江戸時代の版本(プリントを用意します)を読み、訓読に慣れる訓練をしたいと思います。					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
・次回読む箇所を下読みし、分からないところは辞書を引いて調べておく。 ・最終レポートを提出する。			平常点(授業への参加態度、発表内容)80% 最終レポート20%		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2~4年生				
・志望者が多く選抜が必要な場合は「志望調査票」によって選抜します。 ・Bゼミとの掛け持ちを認めます。 ・留学生の受講も歓迎します。その場合は、初めて体験するであろう「漢文訓読」という技法について丁寧に説明します。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	無	期日を決めてのオープンゼミ・説明会は行ないません。質問のある人は担当者に			
説明会開催有無	無	メール(アドレスは履修の手引き参照)等で連絡してください。個別に対応します。			
備考					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード		AA0303	
テーマ	地域の課題解決と環境保全の両立を考える				
担当者	藤田 研二郎	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	金曜日 3 限
関連するコース	サステナブル経済・経営コース ローカル・サステナビリティコース グローバル・サステナビリティコース 人間文化コース 環境サイエンスコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
今日地域が抱える課題について、 <u>基礎的な知識</u> を身につけるとともに、 <u>実際の地域での活動に参加</u> し、課題解決のための取組みを実践できるようになることを目指します。			<u>高齢化や地域活性化など地域の抱える課題の解決</u> について、環境保全との両立を考えながら、実践的なかわり方を検討します。2023 年度は、 <u>農業でのボランティア</u> を中心に活動しています。		
授業の進め方					
(春学期) 地域が抱える課題について、ゼミ生の関心に合わせつつ、 <u>環境社会学や地域社会学、農村計画論</u> などの教科書的な文献を輪読し、基礎的な知識を身につけます。また、学外の団体と調整しながら、ボランティア参加に向けた計画を立てます。					
(秋学期) 実際にボランティア活動に参加し、地域の課題について見聞きしたことを報告書にまとめながら、課題解決のための実践のあり方を考察します。					
学生の皆さんへのメッセージ					
2023 年度は初年度のため、東京都内の農業ボランティアを中心に活動してきました。今後は、地域や対象を広げていければと思っています。あまり歴史はないですが、その分、みなさんと一緒につくっていくゼミです。ぜひ積極的に参加してください。					
授業外で行うべき学習活動 (準備学習等)			成績評価基準		
<ul style="list-style-type: none">● 地域の問題のニュースに関心をもって、日常的に情報収集を行う● 対象の文献をしっかりと読む、発表の準備を行う● ボランティア活動に積極的に参加する			平常点、文献発表、ボランティア参加の準備、報告書の作成、課題の提出などを総合的に評価します。		
募集にあたってのお知らせ (選抜方法・その他)					
募集対象学年	新 2~4 年生、合計 20 名程度				
志望調査票に、次の①②を <u>できるだけ具体的に記入</u> し、提出してください。調査票の内容にもとづき、必要に応じてオンラインで面接を行います。					
① このゼミを志望する理由					
② 地域が抱える課題について、現在関心のあること					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は			
説明会開催有無	無	学習支援システムに仮登録して確認してください。			
備考					
オープンゼミは、 <u>11/10 (金) 3 限 (BT906 教室)</u> の通常のゼミを見学できるようにします。そのなかで、簡単にゼミの説明を行います。詳細は後日、Hoppii で連絡します。					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード		AA0304	
テーマ	持続可能な社会を考える「問い」を立て、考える				
担当者	湯澤 規子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5限
関連するコース	全てのコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
①自らの「問い」を立て ②主体的に調べ（フィールドワークや資料収集・分析） ③ミニ論文の作成 ④研究成果の報告			この研究会では持続可能な社会を考え、実現するためにはどのような「問い」が必要かを、参加者それぞれが決めます。その「問い」に答えるための課題と方法を見つけ、それに取り組み、議論を深めていきます。		
授業の進め方					
Step1: 持続可能な社会を考え、実現するための「問い」を立てる Step2: 「問い」に関する文献の精読と報告 Step3: 可能ならミニフィールドワーク（学生主体で計画、実施予定） Step4: 調査計画を作成し、調査研究を進める Step5: ミニ論文作成の準備（タイトル、目次、構成を考える） Step6: ミニ論文作成					
学生の皆さんへのメッセージ					
◆どんな小さなことでも、自分自身の問題意識や好奇心にもとづいた「問い」を立ててみてください。 ◆この研究会では、まず、参加者それぞれの「問い」を共有し、今年1年間でどのような「問い」に取り組むかを決定します。（湯澤の得意分野は地場産業の地域研究、女性労働史、食と農の地域史などですが、テーマはそれに限りません。湯澤も新しいテーマに挑戦するつもりで取り組みます。） ◆その「問い」を頭の片隅に置きながら日々を過ごすと、今まで見えなかったものが見えたり、気にならなかったものが気になったりしてきます。時には実際にそれを確かめるために、現場に行き、経験してください。 ◆その「発見」、「違和感」、「経験」を自分以外の誰かに伝え、一緒に考える場が研究会です。 ◆侃侃諤諤（かんかんがくがく）、伸び伸びとした「共考」の場にしていきましょう。					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
・興味関心に関わる情報を様々な視点から集める（文献、地図、写真、映画、小説、現地調査・・・） ・発表の準備（データの整理、レジュメの作成など） ・今年の「問い」にかかわる様々な体験をする			研究会への参加、発表、質疑応答、討論などを総合的に評価します。		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	新2年生～4年生で10名程度。				
参加希望者は①どのような問題関心（問い）を持っているのか、②なぜ参加を希望するのかを、志望調査票に記入して提出してください。調査票の内容にもとづいて面接を実施しますので、掲示板の情報に注意してください（同じ内容をメールでもお知らせします）。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	無	個別に質問や相談を受け付けます。湯澤までご連絡ください。			
説明会開催有無	無	yuzawa.noriko@hosei.ac.jp			
備考					
1年間かけてオリジナルの研究をし、論文を書きたいという人は、ぜひご参加下さい。					

2024 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B	学習支援システム応募用授業コード	AA0305			
テーマ	IT パスポート試験とその応用				
担当者	渡邊 誠	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 4限
関連するコース	すべてのコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
IT パスポート試験(国家試験・経済産業省)の受験を念頭に関連知識、技能を修得することを目標としています。さらにそこで得た内容の応用法について検討します。受講生が今後各々進めていく研究および将来の業務に対して、これらの知見をどのように生かせばよいのかなどについても考察できるようになることも大切な目標のひとつとしています。社会における科学技術の役割、その政策的課題についても考える機会とします。			おおむね次の事柄について学習します。 ・コンピュータの基礎理論とシステム構成(テクノロジー) ・IT システム及びネットワークに関する基礎と活用法 ・アルゴリズムとプログラミング ・システム開発と運用・管理(マネジメント) ・経営戦略と企業活動、業務分析(ストラテジ) ・上記知識、分析ツールなどの活かし方研究		
授業の進め方					
指定した教科書をもとにして丁寧に読み進めます。テキストに掲載されている章末問題などを解くことを通して、内容の理解度を高めていきます。その際、ポイントとなる事項についてお互いに検討し合うことにします。また、学習で得た知識・技能の応用法についてグループ研究することを含めて考察していきます。セキュリティ、AI などの問題についても重要な検討事項となります。これらを通して社会における科学技術のありかたについて検討します。					
学生の皆さんへのメッセージ					
本研究会は情報処理技術者試験における「IT パスポート試験」の取得を目標としています。そのため広範囲の内容に触れることになることを理解してください。文系の皆さんにとって有意義な資格であると考えています。授業では技術的側面だけではなく、企業活動、経営戦略、法務、品質管理、……などに関わる内容についても学習します。本研究会は、論理的な思考と判断力を身につけるための基礎を修得するという側面があることを意識してください。					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
毎回、予習・復習することが必要です。教科書、各種資料の読み込み、練習問題の検討、検討項目の考察などを行います。			ゼミ参加の積極性 50%、レポートなどの提出物の充実度 50%とします。		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2~4年生				
連絡事項は学習支援システムに掲載しますので、注意して見てください。選抜に際して面接は行いません。提出された志望調査票をもとに受講者を決定します。受講者数としては20名程度を想定しています。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	無	このテーマは2024年度から開講されるものですのでオープンゼミは開催しません。			
説明会開催有無	有	説明会の詳細情報は学習支援システムに仮登録して確認してください。			
備考					
説明会(募集相談会)は、入退室自由としています。お気軽に参加してください。皆さんの参加を歓迎しています。					